

【表 - 3 - ( 3 ) - 】研究成果 ( 1 8 )

サブテーマ名：循環器系疾患等に対する道産食素材の評価と開発 小テーマ名：食後血糖値上昇抑制効果を有するハーブ有効性評価															
サブテーマリーダー 研究統括 東 市郎(兼) 研究従事者 雇用研究員 宮崎浩之															
研究の概要、新規性及び目標 研究の概要 抗酸化性、-グルコシダーゼ活性阻害物質を指標にハーブ植物のスクリーニングを行い、活性物質を同定する。 研究の独自性・新規性 ハーブの持つ機能性をin vivoで評価した点に新規性がある。 研究の目標 ハーブについて抗酸化性をスクリーニング(フェーズ ) 成分物質の探索及びin vivo試験で確認(フェーズ ) <span style="float: right;">達成率90%</span>															
研究の進め方及び進捗状況 スクリーニングしたハーブのうち、ヒソップ、オレガノの抗酸化性物質を同定し、抽出物について、in vivo試験で -グルコシダーゼ阻害活性、血中コレステロール低減、活性酸素消去能を評価する。															
主な成果 具体的な成果内容： オレガノ、ヒソップから新規化合物をそれぞれ単離・同定した。 オレガノに血中コレステロール上昇抑制効果、ヒソップに血糖値上昇抑制効果をそれぞれ発見した。  特許件数：2                      論文数：4                      口頭発表件数：5															
研究成果に関する評価 1 国内外における水準との対比 ハーブの機能性を化学的に実証した例はあまりない。  2 実用化に向けた波及効果 機能性食品開発に直接結び付く															
残された課題と対応方針について 加工技術の検討が必要、ベンチャー企業「はるにれバイオ研究所」に継承。 オレガノについては、JST事業「RSP事業」に引き継ぎ、加工技術開発を経て実用化を目指す。															
	JST負担分(千円)							地域負担分(千円)							合 計
	H10	H11	H12	H13	H14	H15	小計	H10	H11	H12	H13	H14	H15	小計	
人件費	9,113	16,822	27,373	15,763	7,693	3,213	79,977	1,700	4,400	4,400	0	0	0	10,500	90,477
設備費	18,870	6,888	10,687	3,446	117	0	40,008	6,600	1,580	3,830	0	0	0	12,010	52,018
研究費	26,254	28,175	21,994	7,607	8,619	4,301	96,950	3,200	5,520	3,000	0	0	0	11,720	108,670
旅 費	278	640	1,320	870	613	433	4,154	0	0	0	0	0	0	0	4,154
その他	218	12,677	24,026	1,559	1,253	324	40,057	210	180	300	0	0	0	690	40,747
小 計	54,733	65,202	85,400	29,245	18,295	8,271	261,146	11,710	11,680	11,530	0	0	0	34,920	296,066
代表的な設備名と仕様 [ 既存 ( 事業開始前 ) の設備含む ] JST負担による設備：液体クロマトグラフィー装置、高速液体クロマトグラフシステム、 フォトダイオードアレイ検出器、写真顕微鏡 地域負担による設備： -															